



第4学年「わり算の仕方を考えよう」池上 夏希 教諭

児童が、前時で学んだことを手がかりとしていけるようにと、倍の学習の題材を動物の親子の問題で統一。学びを積み上げて、数量の関係を数直線図などに表すことを用いて、立式のわけを考えながら解くことができる授業にしたいという提案でした。

「数量の関係をいかにとらえさせるか」「わり算の単元の中に位置づけられた。倍の3時間の授業構成はどうだったか？」の2つの視点で協議しました。「数直線で問題場面を示すためには1にあたる数をおさえて」など次回につながる意見が出されました。



単元のデザインをえがくには、内容の深い理解が必要!!

本単元が、第2学年の「倍」「分割分数」や同学年の「小数」「かんたんな割合」「小数倍」、さらに第5学年の「小数の乗除法」にどう関連しているのかを深く理解することが必要。その上で何ができるようになるかといった資質・能力の育成を目指す単元をつくっていくことが求められる。

齊藤一弥  
学力向上総括  
専門官による  
指導板書



授業者の声

齊藤先生からの指導助言から、4年の小数倍だけでなく、5年の小数乗除法までを見すえての指導が必須であると感じました。教材研究会の学びをもとに、単元のリデザインを行ってまいります。

参会者の声

本単元だけでなく、学習の系統や関連をとらえ、どこをゴールにして単元構成するかということが大切だとわかりました。これから、提案性のある指導案づくりをやってみたいと思いました。【七里小 矢野 修教諭】

4年わり算の「倍」の3時間が、どんな単元計画となって提案されるか!!  
次回は **6月11日(月)**  
**14時05分授業開始**です! ぜひご参加ください!

